

日本原水協活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03 - 5842 - 6031
FAX：03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年
11月14日発行

【全労連】世界大会 NY へ向けミニ学習



全国労働組合総連合（全労連）は11月14日、常任幹事会の後に、原水爆禁止世界大会ニューヨーク行動成功に向けての意思統一会議をおこない、日本原水協の土田弥生事務局次長が「2020年を核兵器廃絶の歴史的転換点に 一人ひとりの行動が世界を変える」と題して講演しました。

土田次長は、人類の生存に影響が大きい2つの危機（核兵器など大量破壊兵器と気候変動の緩和や適応の失敗）の解決に責任を負うべき国が解決策を示していないことこそが危機だと指摘し、核兵器禁止条約が人類を救う解決策だと話しました。そして、アメリカの「核の傘＝核抑止力」に異常なまでに依存している日本政府の姿勢を厳しく批判。「核兵器はみんなの問題」「今行動しなければ、地球と自分たちの未来は守れない」と語り、「ヒバクシャ国際署名」をニューヨークへ届けようと呼びかけました。動画→ <https://youtu.be/T2Tfq35KvIQ>

全労連は世界大会ニューヨーク行動成功に向けて、土田次長の講演を15分程度に短縮したパワーポイントを作成しHPにアップすることや、6・9行動、9の日行動を中心に宣伝行動を定期化すること、組織の違いを超えて組合委員長の連名アピールを出すことなどを計画しています。

参加者のとりくみ報告と決意表明

いわて労連：「ヒバクシャ国際署名」をすすめる岩手の会を2016年12月に結成して50万人分を目標にしてとりくんでいます。現在20万弱の到達なので、春までにまず20万を突破したいです。達増知事が一早く署名に賛同したので、県議会もわりと超党派で早い段階で日本政府に核兵器禁止条約への調印、批准を求める意見書が採択されたというすごく大きな出来事があって、県内自治体の賛同も広がっています。33県・市町村のうちあと1市、大船渡市議会だけが残っているのですが、それ以外は全て採択されている状況です。大船渡も地区の原水協は大いに奮闘していて、毎年原爆写真展にとりくんでいます。先日いわて労連の大会でも一番に発言をして、今年は400人ぐらいが来場して署名も400人分ぐらい集まったと。特に中高生が参加して前向きな感想が出されていることが大事だと強調されていました。

岩手の会として結成当初から高校門前の署名活動を大事にしています。また、高校生平和大使のとりくみもずっと進められていて、総会と学習会には必ず彼らにも参加してもらって報告をしてもらいながら交流をしているという関係です。先日、盛岡第四高校で門前署名にとりくんだ時には、高校生も10人ぐらい参加してくれて一緒に署名をとりくんだというのはすごく大事だったと思います。

代表派遣は若いメンバーをどうやって組織するかを大事にしながらとりくんでいます。今振り返ると、前回参加したメンバーが地域労連や単産を支えるリーダーになっているということを実感しています。そういう点も含めて組織していったって成功させていきたいです。

生協労連：今、11単組から派遣をすると登録をいただいています。「ヒバクシャ国際署名」は唯一日本生協連と一緒にできるとりくみになっていて、もう一巻きしようということで共同アピールを出し、労使と一緒に成功に向けてとりくもうということで来週打ち合わせをして早々に出し、再度署名にとりくむことにしています。労使での学習も含めて5月までのとりくみとして進めています。

医労連：とりくみはこれからですが、5年前に75人派遣しているというのでレジュメをひっくり返しながらか組織を強めていきたいと思っています。鹿児島からはニューヨーク現地の交流会も含めて医労連の交流会もできたらいいのではという話も出ています。とりくみの意義を広げながら、署名と合わせて参加も強めて大きな運動を作っていけたらと思っています。

自治労連：国連の気候変動サミットの際に16歳のグレッタさんが話していたように、本当に2つの危機への認識をつかんだということで、まずは春闘方針に書かないといけないなということを思いました。ニューヨークに行くまでにどれだけ署名や自治体への働きかけをしていくのか、共同を広げていくのかということに力を集中していきたいなと思います。

全教：連休前の時期は職場を抜けにくいのですが、5年に1度の貴重な機会と捉えてとりくみを強めていきたいと思っています。全教本部は月1回「ヒバクシャ国際署名」を四ツ谷駅前で行っていますが、先日も広島の方がちょうど通りがかって「東京でもこういうことをやっているんですね」と感謝されました。全国、世界でもやっていますよと話したのですが、広島の方がそういう風に思ってくれたことを非常に嬉しく思いました。忙しい中ですが、頑張っってやっていきたいです。